



みやぎ紫金草合唱団ニュース

通算 455 号

2024年/第4号/4月13日(土)発行/担当：佐藤/事務局：022-372-8277 岡村 <http://sikinso.jimdofree.com>

☆地震が続く日本列島、私たちには私たちができることがある。忘れない☆

3月11日(月)あの日から13年。私たちにとって忘れられない、忘れてはならない日だ。私は珍しくテレビを見た。気仙沼からの映像が出るというので。震災があった年、気仙沼の義妹から「見ておいたほうがいいと思う」という言葉で5月の連休に気仙沼に行った。本吉を過ぎるころから道路だけは車が通れるようになっていたけれど両側には家が一軒もなく、瓦礫の山だった。あれから墓参りのため何度か行っている。2月に家族で気仙沼に行った長男は、「おばあちゃんの家があった所がわからなかった」といった。本当に変わっているのだ。復興しているというのだろう。

グルメ番組だったが、かつての店を再建した人たちが、「能登の人たちに何か言葉を」に、「必ず復興するから、私たちがその見本だから」、「希望を絶やさないことが力になる」、「今は苦しくとも頑張って」・・・と同じようなことを言っていたが、説得力があった。一日一日の積み重ねの13年、能登の人々には始まったばかりのつらい日々だろうが、必ず少しずつ復興するから。時間はかかるけれど。

3月21日には関東で震度5弱、この頃地震のニュースが多い。4月3日には台湾でM7.3の大きな地震があり、沖縄に津波警報が出ている。ラジオでは「東日本大震災のことを思い出してください」と避難するように叫び続けている。(佐藤)

実りのあった宮うた総会・34人で歌った春まつり

宮うた役員

3月10日(日)宮うた総会。今年は書記という立場だったので、本気で聞いていた。話し合いの中で心に残っているのは、メーデー実行委員会で、宮うたの合唱に「怪しい宗教のようだ・・・」という発言が出たということ。担当の努力で今年も歌って参加できるようになったが、「内容の検討が必要だ、若い人をも納得させるような。」ということになった。

- 会長 齊藤 智子
- 副会長 黒田あきさ
- 副会長 熊谷 和男
- 事務局長 石垣 就子
- 〃 次長 皆川多喜子
- 運営委員 渡邊 光敏
- 立山 昭仁
- 青木 節子
- 藪田 陽司
- 内海 洋子
- 吉田 和子
- 橋本 とも
- 佐藤 満子
- 会計監査 佐々木秀則
- 太斉 登

「みんなでつくる歌声広場」の審査員も話し合いになった。「創作曲」の審査について。審査するほうもされるほうも、本当に大変なことなんだと初めて思った。ドキドキ待っているだけだったのに。そして3階のセンターに行くのは大変だとも、の声多数、同感。

午後からの「春まつり」いつも楽しい。会員の合唱団が肩ひじ張らずに団の紹介をし、自分たちの歌を合唱する。少しずつ、少しずつ変化しているそれぞれの合唱団、それでもあの場合に行き知れ合いとあいさつし、近況を語るのもまた楽しい。(参加者118名とのこと)

紫金草合唱団はオオトリだった。狭いステージにいつものようにたくさんの人が立ち、松本先生の指揮で「歌い続けよう ともに」を熱唱した。あれだけ練習したんだもの。あれだけ練習しても暗譜できなかつたけれどというおまけがつくが。吉田さんが『歌い続けよう ともに』を皆さんに歌っていただき感激しました♥どらごえのみんなは感涙していたようです』のメールをくださり、教育のうたごえオープニングに弾みがついた。ありがとう。(佐藤)

勝然さんそちらで歌っていますか？創っていますか？

《 今後の予定 》

3月20日(水)お彼岸の中日、岡村さんの呼びかけに添えて、13人が勝然さんのお墓の前で「UDAUBE」を歌ってきた。庄子さんが作ってくれた計画をそれぞれが頭の中に入れて？というより運転する庄子さんに頼り切って、3台の車に分乗して、今にも雨が降りそうな肌寒い中出発、10時頃お寺に到着。勝然さんのお兄さんとお姉さんが出迎えてくれた。

- ・4月19日(金) 15:30～ 夕練 セター
- ・4月20日(土) 14:30～ センター
「ぞう…」開放練習
- ・4月27日(土) 10:00～ 昼練
荒町市民センター
14:00～16:00 セター 憲法集会の曲
- ・5月1日(水) メーデー 9:20 集合
勾当台市民広場
- ・5月3日(金) 憲法集会 11:00 集合
国際センター (午後練なし)
- ・5月4日(土) 10:00～ 事務局会センター
- ・5月11日(土) 10:00～昼練
八木山市民センター

風が強い中お兄さんがつけてくれたお線香を手向け手を合わせた。何を祈ればいいのか？「みんなをお守りください」しか思い浮かばなかつた。

「UDAUBE」は何とか歌えるものだと自分で驚く。終わった後、岡村さんが『先生を増やそう！』の曲ができたのよ、聞かせたい、聞いてよ、昨日送られてきたばかりなの、皆川さんの詩よ』とスマホから探して流した。推敲の末最終版が完成した。私たちが歌わなければならない曲だ。

昼食の海鮮丼はとてもおいしかった。お刺身の一切れが大きいのだ。そのあと震災遺構の「門脇小学校」へ。現在は、当時を残す古い校舎と、震災を経験しなかつた人達にも伝わるように工夫された資料館の部分に分かれていた。体験した人々の言葉は重いと、資料は私に伝えた。(佐藤)



==== ここまで進みました!! 祭典のための仕事 ====

- 1) 実行委員会 10 回開催。被災地訪問、音楽会 4 部構成で「Team 大川ネットワーク」のステージ、「くまっけ JAPAN」のステージ等決まる。
- 2) 第 1 次チラシ完成 (村田さん作成) とともに全国へ開催要項発送。
- 3) 第 2 部「語り伝えよう平和を」の小林作品 4 曲の、宮うた合同練習が始まる (2 回行われる)
- 4) 創作曲 2 曲完成、練習始まる。
「こころのつばさ」作詞 Team 大川未来を拓くネットワーク・作曲 武 義和
「先生をもっと増やそう!」原詩 皆川多喜子・作詞 教育のうたごえ
作曲 藤村記一郎
- 5) 第 2 次チラシ、チケット完成 (立山さん作成) 配布開始

~~~~ これからしなければならぬ私たちの仕事 ~~~~

- 1) 歌うこと。たくさん歌って、練習を重ねて、歌えるようになること。
- 2) チケットをたくさん売ること。観客席を、満員御礼!! にするために。  
〇〇に鞭打って、頑張ろう。体をこわさぬように気を付けて。



先生をもっと増やそう!



皆川多喜子 原詩  
教育のうたごえ 作詞  
藤村記一郎 作曲

- 1、先生を増やそう もっともっと増やそう  
大切な学びといのちを守ろう 今すぐに

先生を増やそう もっともっと増やそう  
きっと 子どもの笑顔があふれる学校になる

新学期なのに 担任の先生がいない (ありえない!)  
産休に入る先生の代わりが こない (ありえない!)  
働きすぎて たおれる先生が増えた (ひどい!)  
学校がブラックで 先生のなり手がいない (先生がたりない!)

- 2、先生を増やそう もっともっと増やそう  
大切な学びといのちを守ろう 今すぐに

先生を増やそう もっともっと増やそう  
きっと 子どもの笑顔があふれる学校になる

子どもたちと 一緒に遊べる時間 (ほしい!)  
子どもの目を見て じっくり話せる時間 (ほしい!)  
楽しい授業 しっかり準備する時間 (必要だ!)  
先生たちにも 人間らしい暮らしを (そうだ!)

先生を増やそう もっともっと増やそう  
大切な学びといのちを守ろう 今すぐに

先生を増やそう もっともっと増やそう  
きっと 子どもの笑顔があふれる学校になる

先生を増やそう (増やそう!!!)

《レッスン記録・3月9日(土)》

- S18 A13 T3 B4 松本先生 侑子さん 計 40 名
- 1) 「歌い続けよう とともに」 15 分
  - 2) 「咲き広がれ 生命の花よ」 21 分
  - 3) 「ふる里からの手紙」 34 分
  - 4) 「歌い続けよう とともに」 12 分

※合唱は心一つになることによって力を発揮するもの。その想いでステージに立つだけでずいぶん違う。(明日は「春まつり」ステージで歌うのです)

《レッスン記録・3月15日(金)》

- S11 A8 T2 B2 松本先生 侑子さん 計 25 名
- 1) 「学校ってすごいんだよ」 28 分
  - 2) 「こころのつばさ」 30 分
  - 3) 「先生をもっと増やそう!」 40 分

《レッスン記録・3月23日(土)》

- S13 A12 T2 B4 松本先生 侑子さん 計 33 名
- 1) 「先生をもっと増やそう!」 28 分
  - 2) 「こころのつばさ」 33 分
  - 3) 「日本国憲法前文」 27 分

《レッスン記録・4月5日(金)》

- S15 A10 T3 B3+1 松本先生 侑子さん 計 33+1 名
- 1) 「歌い続けよう とともに」 11 分
- ※これは一番初めに歌う曲。ここでお客様の心を掴む。最初が肝心と意識して歌うことによってずいぶん違ってくる。
- 2) 「日本国憲法前文」 40 分
  - 3) 「こころのつばさ」 34 分
  - 4) 「学校ってすごいんだよ」 8 分
  - 5) 「ふる里からの手紙」 14 分
  - 6) 「先生をもっと増やそう!」 9 分

楽譜 「歌い続けよう とともに」「ふる里からの手紙」「学校ってすごいんだよ」「こころのつばさ」「先生をもっと増やそう!」「咲き広がれ 生命の花よ」「日本国憲法前文」